

(19) 日本国特許庁(JP)

再公表特許(A1)

(11) 国際公開番号

W02017/047142

発行日 平成29年9月14日(2017.9.14)

(43) 国際公開日 平成29年3月23日(2017.3.23)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 B 1/04 (2006.01)	A 6 1 B 1/04 3 7 0	2 H 0 4 0
A 6 1 B 1/00 (2006.01)	A 6 1 B 1/00 3 0 0 D	4 C 1 6 1
A 6 1 B 1/06 (2006.01)	A 6 1 B 1/04 3 6 2 J	
G 0 2 B 23/24 (2006.01)	A 6 1 B 1/06 A	
	G 0 2 B 23/24 B	

審査請求 有 予備審査請求 未請求 (全 26 頁)

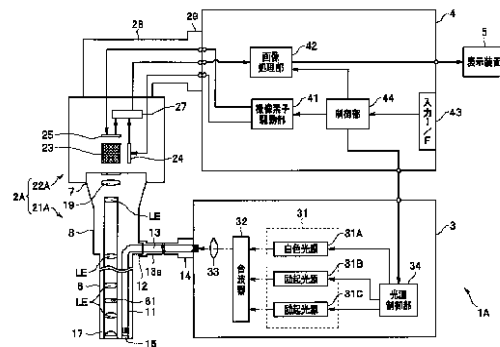
出願番号	特願2016-573630 (P2016-573630)	(71) 出願人	000000376
(21) 国際出願番号	PCT/JP2016/061234		オリンパス株式会社
(22) 国際出願日	平成28年4月6日(2016.4.6)		東京都八王子市石川町2951番地
(11) 特許番号	特許第6138386号 (P6138386)	(74) 代理人	100076233
(45) 特許公報発行日	平成29年5月31日(2017.5.31)		弁理士 伊藤 進
(31) 優先権主張番号	特願2015-185196 (P2015-185196)	(74) 代理人	100101661
(32) 優先日	平成27年9月18日(2015.9.18)		弁理士 長谷川 靖
(33) 優先権主張国	日本国(JP)	(74) 代理人	100135932
			弁理士 篠浦 治
		(72) 発明者	内山 博樹
			東京都八王子市石川町2951番地 オリ
			ンパス株式会社内
		(72) 発明者	渡邊 俊明
			東京都八王子市石川町2951番地 オリ
			ンパス株式会社内

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 内視鏡装置及び内視鏡システム

(57) 【要約】

内視鏡装置は、被写体に対する白色光の照射に応じて発生する白色光の反射光を用いた観察と、蛍光色素に対する励起光の照射に応じて発生する蛍光を用いた観察と、を行うことができ、被検体内に挿入可能な挿入部と、白色光の反射光と、蛍光と、励起光の反射光と、が入射される対物光学系と、対物光学系を経て出射される光を分光する分光器と、対物光学系から入射した光が分光器に至るまでの光路上に配置され、白色光の反射光及び蛍光を透過させつつ励起光の反射光を遮断する光学フィルタと、光学フィルタ及び分光器を経て出射される光をそれぞれ撮像するための複数の撮像素子と、を有する。



5... DISPLAY DEVICE
 31A... WHITE LIGHT SOURCE
 31B, 31C... EXCITATION LIGHT SOURCE
 32... MULTIPLEXER
 34... LIGHT SOURCE CONTROL UNIT
 41... IMAGE PICKUP ELEMENT DRIVE UNIT
 42... IMAGE PROCESSING UNIT
 43... INPUT INTERFACE
 44... CONTROL UNIT

【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

被検体内に存在する被写体に対する白色光の照射に応じて発生する前記白色光の反射光を用いた観察と、前記被検体内に投与された蛍光色素に対する励起光の照射に応じて発生する蛍光を用いた観察と、を行うことが可能な内視鏡装置であって、

前記被検体内に挿入可能な挿入部と、

前記挿入部の先端部に設けられ、前記白色光の反射光と、前記蛍光と、前記励起光の照射に応じて発生する前記励起光の反射光と、が戻り光として入射されるように構成された対物光学系と、

前記対物光学系を経て出射される前記戻り光を相互に異なる複数の波長帯域の光に分光して出射するように構成された分光器と、

前記対物光学系から入射した前記戻り光が前記分光器に至るまでの光路上に配置され、前記白色光の反射光及び前記蛍光を透過させつつ前記励起光の反射光を遮断するような光学特性を具備して形成された光学フィルタと、

前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記白色光の反射光及び前記蛍光をそれぞれ撮像するための複数の撮像素子と、

を有することを特徴とする内視鏡装置。

【請求項 2】

前記挿入部に設けられ、前記対物光学系から入射した前記戻り光を前記分光器へ伝送するように構成された伝送光学系をさらに有する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡装置。

【請求項 3】

前記光学フィルタは、前記伝送光学系を構成する複数のレンズのうちの所定の 2 つのレンズの間に設けられている

ことを特徴とする請求項 2 に記載の内視鏡装置。

【請求項 4】

前記光学フィルタは、前記伝送光学系と前記分光器との間に設けられている

ことを特徴とする請求項 2 に記載の内視鏡装置。

【請求項 5】

前記対物光学系、前記分光器、前記光学フィルタ、及び、前記複数の撮像素子が前記挿入部の先端部に設けられているとともに、前記光学フィルタが前記対物光学系と前記分光器との間に設けられている

ことを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡装置。

【請求項 6】

被検体内に存在する被写体を照明するための白色光と、前記被検体内に投与された蛍光色素を励起させて蛍光を発生させるための励起光と、を供給可能な光源装置と、

前記被検体内に挿入可能な挿入部と、

前記挿入部の先端部に設けられ、前記被写体に対する前記白色光の照射に応じて発生する前記白色光の反射光と、前記蛍光と、前記励起光の照射に応じて発生する前記励起光の反射光と、が戻り光として入射されるように構成された対物光学系と、

前記対物光学系を経て出射される前記戻り光を相互に異なる複数の波長帯域の光に分光して出射するように構成された分光器と、

前記対物光学系から入射した前記戻り光が前記分光器に至るまでの光路上に配置され、前記白色光の反射光及び前記蛍光を透過させつつ前記励起光の反射光を遮断するような光学特性を具備して形成された光学フィルタと、

前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記白色光の反射光及び前記蛍光をそれぞれ撮像するための複数の撮像素子と、

を有することを特徴とする内視鏡システム。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】**

10

20

30

40

50

【 0 0 0 1 】

本発明は、内視鏡装置及び内視鏡システムに関し、特に、蛍光観察に用いられる内視鏡装置及び内視鏡システムに関するものである。

【 背景技術 】

【 0 0 0 2 】

医療分野の内視鏡観察においては、例えば、被検体内に存在する生体組織等の被写体に対して白色光を照射した際に発せられる反射光に基づき、当該被写体の状態を観察するような観察手法である白色光観察が従来行われている。

【 0 0 0 3 】

また、医療分野の内視鏡観察においては、例えば、被検体内に投与された蛍光色素または被検体の細胞内に存在する所定の蛍光物質のいずれかを励起させるための励起光を所望の観察部位に照射した際の蛍光の発生状態に基づき、当該所望の観察部位に病変部位が含まれているか否か等を診断するような観察手法である蛍光観察が従来行われている。

【 0 0 0 4 】

そして、例えば、欧州特許出願公開第 2 1 2 2 3 3 1 号には、前述の白色光観察及び蛍光観察に兼用可能な構成が開示されている。

【 0 0 0 5 】

具体的には、欧州特許出願公開第 2 1 2 2 3 3 1 号には、白色光の反射光を撮像して反射光画像を得ることが可能であるとともに、相互に異なる複数の波長帯域の励起光により励起される複数種類の蛍光色素から発せられる蛍光を撮像して蛍光画像を得ることが可能なシステムが開示されている。

【 0 0 0 6 】

しかし、欧州特許出願公開第 2 1 2 2 3 3 1 号に開示された構成によれば、相互に異なる複数の波長帯域の励起光をカットするためのフィルタが、反射光を撮像するために用いられる撮像素子と、蛍光を撮像するために用いられる撮像素子と、の前面に 1 つずつ設けられている。

【 0 0 0 7 】

そのため、欧州特許出願公開第 2 1 2 2 3 3 1 号に開示された構成によれば、白色光観察と、複数種類の蛍光色素に対応した蛍光観察と、に兼用可能なシステムの構築に高いコストを要してしまう、という課題が生じている。

【 0 0 0 8 】

本発明は、前述した事情に鑑みてなされたものであり、白色光観察と、複数種類の蛍光色素に対応した蛍光観察と、に兼用可能なシステムを構築する際のコストを低減可能な内視鏡装置及び内視鏡システムを提供することを目的としている。

【 発明の開示 】

【 課題を解決するための手段 】

【 0 0 0 9 】

本発明の一態様の内視鏡装置は、被検体内に存在する被写体に対する白色光の照射に応じて発生する前記白色光の反射光を用いた観察と、前記被検体内に投与された蛍光色素に対する励起光の照射に応じて発生する蛍光を用いた観察と、を行うことが可能な内視鏡装置であって、前記被検体内に挿入可能な挿入部と、前記挿入部の先端部に設けられ、前記白色光の反射光と、前記蛍光と、前記励起光の照射に応じて発生する前記励起光の反射光と、が戻り光として入射されるように構成された対物光学系と、前記対物光学系を経て出射される前記戻り光を相互に異なる複数の波長帯域の光に分光して出射するように構成された分光器と、前記対物光学系から入射した前記戻り光が前記分光器に至るまでの光路上に配置され、前記白色光の反射光及び前記蛍光を透過させつつ前記励起光の反射光を遮断するような光学特性を具備して形成された光学フィルタと、前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記白色光の反射光及び前記蛍光をそれぞれ撮像するための複数の撮像素子と、を有する。

【 0 0 1 0 】

本発明の一態様の内視鏡システムは、被検体内に存在する被写体を照明するための白色光と、前記被検体内に投与された蛍光色素を励起させて蛍光を発生させるための励起光と、を供給可能な光源装置と、前記被検体内に挿入可能な挿入部と、前記挿入部の先端部に設けられ、前記被写体に対する前記白色光の照射に応じて発生する前記白色光の反射光と、前記蛍光と、前記励起光の照射に応じて発生する前記励起光の反射光と、が戻り光として入射されるように構成された対物光学系と、前記対物光学系を経て出射される前記戻り光を相互に異なる複数の波長帯域の光に分光して出射するように構成された分光器と、前記対物光学系から入射した前記戻り光が前記分光器に至るまでの光路上に配置され、前記白色光の反射光及び前記蛍光を透過させつつ前記励起光の反射光を遮断するような光学特性を具備して形成された光学フィルタと、前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記白色光の反射光及び前記蛍光をそれぞれ撮像するための複数の撮像素子と、を有する。

10

【図面の簡単な説明】

【0011】

【図1】第1の実施例に係る内視鏡システムの要部の構成を示す図。

【図2】第1の実施例に係る内視鏡システムの具体的な構成の一例を説明するための図。

【図3】第1の実施例に係る内視鏡装置に設けられた光学フィルタの光学特性の一例を示す図。

【図4】第1の実施例に係る光源装置に設けられた各光源から発せられる光の波長帯域の一例を示す図。

20

【図5】第1の実施例の変形例に係る内視鏡システムの要部の構成を示す図。

【図6】第1の実施例に係る光源装置の構成の、図2とは異なる例を示す図。

【図7】図6の光源装置に設けられた回転フィルタの構成の一例を示す図。

【図8】図7の回転フィルタに設けられた白色光観察用フィルタの透過特性の一例を示す図。

【図9】図7の回転フィルタに設けられた蛍光観察用フィルタの透過特性の一例を示す図。

【図10】第2の実施例に係る内視鏡システムの要部の構成を示す図。

【発明を実施するための最良の形態】

【0012】

30

以下、本発明の実施の形態について、図面を参照しつつ説明を行う。

【0013】

(第1の実施例)

図1から図9は、本発明の第1の実施例及び変形例に係るものである。

【0014】

内視鏡システム1Aは、図1に示すように、被検体内に挿入されるとともに、当該被検体内における生体組織等の被写体を撮像して得られた画像を出力するように構成された内視鏡装置2Aと、当該被写体に照射される光を内視鏡装置2Aに供給するように構成された光源装置3と、内視鏡装置2Aから出力される画像に対して所定の画像処理を施すことにより観察画像等を生成して出力するように構成されたビデオプロセッサ4と、ビデオプロセッサ4から出力される観察画像等を画面上に表示するように構成された表示装置5と、を有している。図1は、第1の実施例に係る内視鏡システムの要部の構成を示す図である。

40

【0015】

内視鏡装置2Aは、被検体内に存在する被写体に対する白色光の照射に応じて発生する当該白色光の反射光を用いた観察と、当該被検体内に投与された蛍光色素に対する励起光の照射に応じて発生する蛍光を用いた観察と、を行うことができるように構成されている。また、内視鏡装置2Aは、細長の挿入部6を備えた光学視管21Aと、光学視管21Aの接眼部7に対して着脱可能なカメラユニット22Aと、を有して構成されている。

【0016】

50

光学視管 2 1 A は、被検体内に挿入可能な細長の挿入部 6 と、挿入部 6 の基端部に設けられた把持部 8 と、把持部 8 の基端部に設けられた接眼部 7 と、を有して構成されている。

【 0 0 1 7 】

挿入部 6 の内部には、図 2 に示すように、ケーブル 1 3 a を介して供給される光を伝送するためのライトガイド 1 1 が挿通されている。図 2 は、第 1 の実施例に係る内視鏡システムの具体的な構成の一例を説明するための図である。

【 0 0 1 8 】

ライトガイド 1 1 の出射端部は、図 2 に示すように、挿入部 6 の先端部における照明レンズ 1 5 の近傍に配置されている。また、ライトガイド 1 1 の入射端部は、把持部 8 に設けられたライトガイド口金 1 2 に配置されている。

10

【 0 0 1 9 】

ケーブル 1 3 a の内部には、図 2 に示すように、光源装置 3 から供給される光を伝送するためのライトガイド 1 3 が挿通されている。また、ケーブル 1 3 a の一方の端部には、ライトガイド口金 1 2 に対して着脱可能な接続部材（不図示）が設けられている。また、ケーブル 1 3 a の他方の端部には、光源装置 3 に対して着脱可能なライトガイドコネクタ 1 4 が設けられている。

【 0 0 2 0 】

挿入部 6 の先端部には、ライトガイド 1 1 により伝送された光を外部へ出射するための照明レンズ 1 5 と、外部から入射される光に応じた光学像を得るための対物レンズ 1 7 と、が設けられている。また、挿入部 6 の先端面には、照明レンズ 1 5 が配置された照明窓（不図示）と、対物レンズ 1 7 が配置された対物窓（不図示）と、が相互に隣接して設けられている。

20

【 0 0 2 1 】

挿入部 6 の内部には、図 2 に示すように、対物レンズ 1 7 により得られた光学像を接眼部 7 へ伝送するための複数のレンズ L E を具備するリレーレンズ 1 8 が設けられている。すなわち、リレーレンズ 1 8 は、対物レンズ 1 7 から入射した光を伝送する伝送光学系としての機能を具備して構成されている。

【 0 0 2 2 】

また、リレーレンズ 1 8 を構成する複数のレンズ L E のうちの所定の 2 つのレンズ L E の間には、図 3 に示すような光学特性を具備して形成された光学フィルタ 6 1 が設けられている。すなわち、本実施例の光学フィルタ 6 1 は、対物光学系 1 7 から入射した光がリレーレンズ 1 8 を経て後述の分光器 2 3 に至るまでの光路上に配置されている。図 3 は、第 1 の実施例に係る内視鏡装置に設けられた光学フィルタの光学特性の一例を示す図である。

30

【 0 0 2 3 】

具体的には、光学フィルタ 6 1 は、例えば、図 3 に示すように、青色域に属する波長 W_a から赤色域に属する波長 W_b までの帯域に相当する波長帯域 W_{ab} 、近赤外域に属する波長 W_c から波長 W_c よりも長い波長 W_d までの帯域に相当する波長帯域 W_{cd} 、及び、波長 W_d よりも長い波長 W_e から波長 W_e よりも長い波長 W_f までの帯域に相当する波長帯域 W_{ef} の 3 つの波長帯域のうちのいずれかに含まれる光を透過させる一方で、当該 3 つの波長帯域以外の波長帯域に含まれる光を遮断するような光学特性を具備して形成されている。

40

【 0 0 2 4 】

接眼部 7 の内部には、図 2 に示すように、リレーレンズ 1 8 により伝送された光学像を肉眼で観察可能とするための接眼レンズ 1 9 が設けられている。

【 0 0 2 5 】

カメラユニット 2 2 A は、分光器 2 3 と、撮像素子 2 4 及び 2 5 と、信号処理回路 2 7 と、を有して構成されている。

【 0 0 2 6 】

50

分光器 23 は、例えば、ダイクロイックミラーまたはプリズム等の 1 つ以上の光学部材を具備し、接眼レンズ 19 を経て出射される光を相互に異なる複数の波長帯域の光に分光して撮像素子 24 及び 25 へそれぞれ出射するように構成されている。具体的には、分光器 23 は、接眼レンズ 19 を経て出射される光を、波長 W_b 以下の光である第 1 の波長帯域の光と、波長 W_b より長い波長の光である第 2 の波長帯域の光と、に分光し、当該第 1 の波長帯域の光を撮像素子 24 へ出射し、当該第 2 の波長帯域の光を撮像素子 25 へ出射するように構成されている。

【0027】

撮像素子 24 は、例えば、原色系または補色系のカラーフィルタを撮像面に設けたカラー CCD により構成されている。また、撮像素子 24 は、ビデオプロセッサ 4 から出力される撮像素子駆動信号に応じた撮像動作を行うように構成されている。また、撮像素子 24 は、分光器 23 を経て出射される波長 W_b 以下の波長の光を撮像し、当該撮像した光に応じた画像を生成して出力するように構成されている。

【0028】

撮像素子 25 は、例えば、高感度なモノクロ CCD により構成されている。また、撮像素子 25 は、ビデオプロセッサ 4 から出力される撮像素子駆動信号に応じた撮像動作を行うように構成されている。また、撮像素子 25 は、分光器 23 を経て出射される波長 W_b より長い波長の光を撮像し、当該撮像した光に応じた画像を生成して出力するように構成されている。

【0029】

信号処理回路 27 は、撮像素子 24 及び 25 から出力される各画像に対し、例えば、相関二重サンプリング処理、ゲイン調整処理、及び、A/D 変換処理等のような所定の信号処理を施すように構成されている。また、信号処理回路 27 は、前述の所定の信号処理を施した画像を、信号ケーブル 28 が接続されたビデオプロセッサ 4 へ出力するように構成されている。

【0030】

光源装置 3 は、発光部 31 と、合波器 32 と、集光レンズ 33 と、光源制御部 34 と、を有して構成されている。また、発光部 31 は、白色光源 31A と、励起光源 31B 及び 31C と、を有して構成されている。

【0031】

白色光源 31A は、例えば、ランプまたは LED 等を具備し、波長帯域 W_{ab} の白色光である WL 光 (図 4 参照) を発するように構成されている。また、白色光源 31A は、光源制御部 34 の制御に応じて点灯状態または消灯状態に切り替わるように構成されている。また、白色光源 31A は、点灯状態において、光源制御部 34 の制御に応じた強度または光量の WL 光を発生するように構成されている。図 4 は、第 1 の実施例に係る光源装置に設けられた各光源から発せられる光の波長帯域の一例を示す図である。

【0032】

励起光源 31B は、例えば、ランプまたは LED 等を具備し、波長 W_b から波長 W_c までの帯域に相当する波長帯域 W_{bc} の励起光である EA 光 (図 4 参照) を発するように構成されている。また、励起光源 31B は、光源制御部 34 の制御に応じて点灯状態または消灯状態に切り替わるように構成されている。また、励起光源 31B は、点灯状態において、光源制御部 34 の制御に応じた強度または光量の EA 光を発生するように構成されている。

【0033】

励起光源 31C は、例えば、ランプまたは LED 等を具備し、波長 W_d から波長 W_e までの帯域に相当する波長帯域 W_{de} の励起光である EB 光 (図 4 参照) を発するように構成されている。また、励起光源 31C は、光源制御部 34 の制御に応じて点灯状態または消灯状態に切り替わるように構成されている。また、励起光源 31C は、点灯状態において、光源制御部 34 の制御に応じた強度または光量の EB 光を発生するように構成されている。

10

20

30

40

50

【 0 0 3 4 】

なお、本実施例の光学フィルタ 6 1 及び発光部 3 1 は、波長帯域 W b c または W d e と、波長帯域 W c d または W e f と、が相互に重複せず、かつ、波長帯域 W c d と W e f とが相互に異なるように構成されていればよい。そのため、本実施例の光学フィルタ 6 1 及び発光部 3 1 は、例えば、波長帯域 W a b と W b c とが一部重複するように構成されていてもよく、または、波長帯域 W b c と W d e とが一部重複するように構成されていてもよい。

【 0 0 3 5 】

合波器 3 2 は、発光部 3 1 から発せられた各光を合波して集光レンズ 3 3 に入射させることができるように構成されている。

10

【 0 0 3 6 】

集光レンズ 3 3 は、合波器 3 2 を経て入射した光を集光してライトガイド 1 3 へ出射するように構成されている。

【 0 0 3 7 】

光源制御部 3 4 は、ビデオプロセッサ 4 から出力される照明制御信号に基づき、発光部 3 1 の各光源に対する制御を行うように構成されている。

【 0 0 3 8 】

すなわち、以上に述べたような光源装置 3 の構成によれば、被検体内に存在する被写体を照明するための白色光である W L 光と、当該被検体内に投与された蛍光色素を励起させて蛍光を発生させるための励起光である E A 光及び E B 光と、を内視鏡装置 2 A の光学視管 2 1 A に供給することができる。

20

【 0 0 3 9 】

ビデオプロセッサ 4 は、撮像素子駆動部 4 1 と、画像処理部 4 2 と、入力 I / F (インターフェース) 4 3 と、制御部 4 4 と、を有して構成されている。

【 0 0 4 0 】

撮像素子駆動部 4 1 は、例えば、ドライバ回路等を具備して構成されている。また、撮像素子駆動部 4 1 は、制御部 4 4 の制御に応じた撮像素子駆動信号を生成して出力するように構成されている。

【 0 0 4 1 】

画像処理部 4 2 は、例えば、画像処理回路等を具備して構成されている。また、画像処理部 4 2 は、制御部 4 4 の制御に応じ、白色光観察モードに設定された際に内視鏡装置 2 A から出力される画像に対して階調補正処理等の所定の画像処理を施すことにより白色光観察画像を生成し、当該生成した白色光観察画像を表示装置 5 へ出力するように構成されている。また、画像処理部 4 2 は、制御部 4 4 の制御に応じ、蛍光観察モードに設定された際に内視鏡装置 2 A から出力される画像に対して階調補正処理等の所定の画像処理を施すことにより蛍光観察画像を生成し、当該生成した蛍光観察画像を表示装置 5 へ出力するように構成されている。

30

【 0 0 4 2 】

入力 I / F 4 3 は、ユーザの操作に応じた指示等を行うことが可能な 1 つ以上のスイッチ及び / またはボタンを具備して構成されている。具体的には、入力 I / F 4 3 は、例えば、ユーザの操作に応じ、内視鏡システム 1 A の観察モードを白色光観察モードまたは蛍光観察モードのいずれかに設定する (切り替える) ための指示を行うことが可能な観察モード切替スイッチ (不図示) を具備して構成されている。

40

【 0 0 4 3 】

制御部 4 4 は、例えば、CPU または F P G A (F i e l d P r o g r a m m a b l e G a t e A r r a y) 等の制御回路を具備して構成されている。また、制御部 4 4 は、入力 I / F 4 3 の観察モード切替スイッチにおいてなされた指示に基づき、内視鏡システム 1 A の観察モードに応じた光を出射させるための照明制御信号を生成して光源制御部 3 4 へ出力するように構成されている。また、制御部 4 4 は、入力 I / F 4 3 の観察モード切替スイッチにおいてなされた指示に基づき、内視鏡システム 1 A の観察モードに応

50

じた動作を行わせるための制御を撮像素子駆動部 4 1 及び画像処理部 4 2 に対して行うように構成されている。

【 0 0 4 4 】

表示装置 5 は、例えば、LCD（液晶ディスプレイ）等を具備し、ビデオプロセッサ 4 から出力される観察画像等を表示することができるように構成されている。

【 0 0 4 5 】

次に、本実施例の内視鏡システム 1 A の動作等について説明する。なお、本実施例においては、E A 光の照射に応じて波長帯域 W c d の（近赤外域の）蛍光である F A 光を発するような蛍光特性を有する蛍光色素 F L A と、E B 光の照射に応じて波長帯域 W e f の（近赤外域の）蛍光である F B 光を発するような蛍光特性を有する蛍光色素 F L B と、が相互に異なるタイミングで被検体内に投与される場合を例に挙げて説明する。

10

【 0 0 4 6 】

まず、術者等のユーザは、内視鏡システム 1 A の各部を接続して電源を投入した後、入力 I / F 4 3 を操作することにより、内視鏡システム 1 A の観察モードを白色光観察モードに設定するための指示を行う。

【 0 0 4 7 】

制御部 4 4 は、白色光観察モードに設定されたことを検出すると、光源装置 3 から W L 光を出射させるための照明制御信号を生成して光源制御部 3 4 へ出力する。また、制御部 4 4 は、白色光観察モードに設定されたことを検出すると、カメラユニット 2 2 A の撮像素子 2 4 を駆動させるとともに、カメラユニット 2 2 A の撮像素子 2 5 を駆動停止させるような制御を撮像素子駆動部 4 1 に対して行う。

20

【 0 0 4 8 】

光源制御部 3 4 は、制御部 4 4 から出力される照明制御信号に応じ、白色光源 3 1 A を点灯状態にするための制御を行うとともに、励起光源 3 1 B 及び励起光源 3 1 C を消灯状態にするための制御を行う。また、撮像素子駆動部 4 1 は、制御部 4 4 の制御に応じ、撮像動作を行わせるための撮像素子駆動信号を生成して撮像素子 2 4 へ出力するとともに、撮像動作を停止させるための撮像素子駆動信号を生成して撮像素子 2 5 へ出力する。

【 0 0 4 9 】

そして、以上に述べたような動作が光源制御部 3 4 において行われることにより、W L 光が被写体に照射され、当該 W L 光の照射に応じて当該被写体から発せられた反射光である W L R 光が戻り光として対物レンズ 1 7 から入射され、対物レンズ 1 7 を経て出射される W L R 光がリレーレンズ 1 8 に入射される。

30

【 0 0 5 0 】

ここで、前述の光学視管 2 1 A の構成によれば、リレーレンズ 1 8 に設けられた光学フィルタ 6 1 が図 3 に例示したような光学特性を具備するため、波長帯域 W a b の W L R 光が接眼レンズ 1 9 側へ透過して分光器 2 3 に入射される。

【 0 0 5 1 】

従って、内視鏡システム 1 A の観察モードが白色光観察モードに設定された際には、分光器 2 3 を経て出射される W L R 光が撮像素子 2 4 により撮像されるとともに、当該 W L R 光を撮像して得られた画像である反射光画像 R I が信号処理回路 2 7 を経て画像処理部 4 2 へ出力される。

40

【 0 0 5 2 】

画像処理部 4 2 は、制御部 4 4 の制御に応じ、信号処理回路 2 7 から出力される反射光画像 R I に対して所定の画像処理を施すことにより白色光観察画像を生成し、当該生成した白色光観察画像を表示装置 5 へ出力する。そして、このような画像処理部 4 2 の動作によれば、例えば、生体組織等の被写体を肉眼で見た場合と略同様の色調を具備する白色光観察画像が表示装置 5 に表示される。

【 0 0 5 3 】

一方、ユーザは、例えば、蛍光色素 F L B から発せられる F B 光の観察を行う前または当該 F B 光の観察を完了した後のいずれかにおいて、蛍光色素 F L A を被検体内に投与す

50

る。

【 0 0 5 4 】

その後、ユーザは、表示装置 5 に表示される白色光観察画像を確認しながら、挿入部 6 を被検体内に挿入し、挿入部 6 の先端部を当該被検体内の所望の観察部位の近傍に配置した状態において、入力 I / F 4 3 を操作することにより、内視鏡システム 1 A の観察モードを蛍光観察モードに設定するための指示を行う。

【 0 0 5 5 】

制御部 4 4 は、蛍光観察モードに設定されたことを検出すると、光源装置 3 から W L 光、E A 光及び E B 光を同時に射出させるための照明制御信号を生成して光源制御部 3 4 へ出力する。また、制御部 4 4 は、蛍光観察モードに設定されたことを検出すると、カメラ

10

【 0 0 5 6 】

光源制御部 3 4 は、制御部 4 4 から出力される照明制御信号に応じ、白色光源 3 1 A、励起光源 3 1 B 及び励起光源 3 1 C をそれぞれ点灯状態にするための制御を行う。また、撮像素子駆動部 4 1 は、制御部 4 4 の制御に応じ、撮像動作を行わせるための撮像素子駆動信号を生成して撮像素子 2 4 及び撮像素子 2 5 へそれぞれ出力する。

【 0 0 5 7 】

そして、以上に述べたような動作が光源制御部 3 4 において行われることにより、W L 光、E A 光及び E B 光が被写体に照射され、W L R 光、F A 光、当該 E A 光の照射に応じて当該被写体から発せられた反射光である E A R 光、及び、当該 E B 光の照射に応じて当該被写体から発せられた反射光である E B R 光が戻り光として対物レンズ 1 7 から入射され、対物レンズ 1 7 を経て射出される当該戻り光がリレーレンズ 1 8 に入射される。

20

【 0 0 5 8 】

ここで、前述の光学視管 2 1 A の構成によれば、リレーレンズ 1 8 に設けられた光学フィルタ 6 1 が図 3 に例示したような光学特性を具備するため、波長帯域 W a b の W L R 光と、波長帯域 W c d の F A 光と、がそれぞれ接眼レンズ 1 9 側へ透過して分光器 2 3 に入射される一方で、波長帯域 W b c の E A R 光と、波長帯域 W d e の E B R 光と、が光学フィルタ 6 1 により遮断される。

【 0 0 5 9 】

30

従って、蛍光色素 F L A が被検体内に投与された状態で内視鏡システム 1 A の観察モードが蛍光観察モードに設定された際には、分光器 2 3 を経て射出される W L R 光が撮像素子 2 4 により撮像され、分光器 2 3 を経て射出される F A 光が撮像素子 2 5 により撮像されるとともに、反射光画像 R I と、当該 F A 光を撮像して得られた画像である蛍光画像 F A I と、が信号処理回路 2 7 を経て画像処理部 4 2 へそれぞれ出力される。

【 0 0 6 0 】

画像処理部 4 2 は、制御部 4 4 の制御に応じ、信号処理回路 2 7 から出力される反射光画像 R I 及び蛍光画像 F A I に対して所定の画像処理を施すことにより蛍光観察画像を生成し、当該生成した蛍光観察画像を表示装置 5 へ出力する。そして、このような画像処理部 4 2 の動作によれば、例えば、被検体内の所望の観察部位における F A 光の発生状態を示す情報が白色光観察画像に付加された蛍光観察画像が表示装置 5 に表示される。

40

【 0 0 6 1 】

なお、本実施例の画像処理部 4 2 は、反射光画像 R I を用いて蛍光観察画像を生成するものに限らず、例えば、反射光画像 R I を用いずに、すなわち、蛍光画像 F A I のみを用いて蛍光観察画像を生成するものであってもよい。そして、このような画像処理部 4 2 の動作によれば、例えば、被検体内の所望の観察部位における F A 光の発生状態を直接視認することが可能な蛍光観察画像が表示装置 5 に表示される。

【 0 0 6 2 】

一方、ユーザは、例えば、蛍光色素 F L A から発せられる F A 光の観察を行う前または当該 F A 光の観察を完了した後のいずれかにおいて、蛍光色素 F L B を被検体内に投与す

50

る。

【 0 0 6 3 】

その後、ユーザは、表示装置 5 に表示される白色光観察画像を確認しながら、挿入部 6 を被検体内に挿入し、挿入部 6 の先端部を当該被検体内の所望の観察部位の近傍に配置した状態において、入力 I / F 4 3 を操作することにより、内視鏡システム 1 A の観察モードを蛍光観察モードに設定するための指示を行う。

【 0 0 6 4 】

制御部 4 4 は、蛍光観察モードに設定されたことを検出すると、光源装置 3 から W L 光、E A 光及び E B 光を同時に射出させるための照明制御信号を生成して光源制御部 3 4 へ出力する。また、制御部 4 4 は、蛍光観察モードに設定されたことを検出すると、カメラ

10

【 0 0 6 5 】

光源制御部 3 4 は、制御部 4 4 から出力される照明制御信号に応じ、白色光源 3 1 A、励起光源 3 1 B 及び励起光源 3 1 C をそれぞれ点灯状態にするための制御を行う。また、撮像素子駆動部 4 1 は、制御部 4 4 の制御に応じ、撮像動作を行わせるための撮像素子駆動信号を生成して撮像素子 2 4 及び撮像素子 2 5 へそれぞれ出力する。

【 0 0 6 6 】

そして、以上に述べたような動作が光源制御部 3 4 において行われることにより、W L 光、E A 光及び E B 光が被写体に照射され、W L R 光、F B 光、E A R 光及び E B R 光が

20

戻り光として対物レンズ 1 7 から入射され、対物レンズ 1 7 を経て射出される当該戻り光がリレーレンズ 1 8 に入射される。

【 0 0 6 7 】

ここで、前述の光学視管 2 1 A の構成によれば、リレーレンズ 1 8 に設けられた光学フィルタ 6 1 が図 3 に例示したような光学特性を具備するため、波長帯域 W a b の W L R 光と、波長帯域 W e f の F B 光と、がそれぞれ接眼レンズ 1 9 側へ透過して分光器 2 3 に入射される一方で、波長帯域 W b c の E A R 光と、波長帯域 W d e の E B R 光と、が光学フィルタ 6 1 により遮断される。

【 0 0 6 8 】

従って、蛍光色素 F L B が被検体内に投与された状態で内視鏡システム 1 A の観察モードが蛍光観察モードに設定された際には、分光器 2 3 を経て射出される W L R 光が撮像素子 2 4 により撮像され、分光器 2 3 を経て射出される F B 光が撮像素子 2 5 により撮像されるとともに、反射光画像 R I と、当該 F B 光を撮像して得られた画像である蛍光画像 F B I と、が信号処理回路 2 7 を経て画像処理部 4 2 へそれぞれ出力される。

30

【 0 0 6 9 】

画像処理部 4 2 は、制御部 4 4 の制御に応じ、信号処理回路 2 7 から出力される反射光画像 R I 及び蛍光画像 F B I に対して所定の画像処理を施すことにより蛍光観察画像を生成し、当該生成した蛍光観察画像を表示装置 5 へ出力する。そして、このような画像処理部 4 2 の動作によれば、例えば、被検体内の所望の観察部位における F B 光の発生状態を示す情報が白色光観察画像に付加された蛍光観察画像が表示装置 5 に表示される。

40

【 0 0 7 0 】

なお、本実施例の画像処理部 4 2 は、反射光画像 R I を用いて蛍光観察画像を生成するものに限らず、例えば、反射光画像 R I を用いずに、すなわち、蛍光画像 F B I のみを用いて蛍光観察画像を生成するものであってもよい。そして、このような画像処理部 4 2 の動作によれば、例えば、被検体内の所望の観察部位における F B 光の発生状態を直接視認することが可能な蛍光観察画像が表示装置 5 に表示される。

【 0 0 7 1 】

以上に述べたように、本実施例によれば、光学視管 2 1 A を通過する光が光学フィルタ 6 1 によりフィルタリングされるため、例えば、E A R 光及び E B R 光を遮断するためのフィルタを撮像素子 2 4 及び 2 5 の前面にそれぞれ設けずとも、W L 光の照射に応じて被

50

写体から発せられるW L R光を用いた白色光観察と、E A光の照射に応じて蛍光色素F L Aから発せられるF A光を用いた蛍光観察と、E B光の照射に応じて蛍光色素F L Bから発せられるF B光を用いた蛍光観察と、を行うことができる。従って、本実施例によれば、白色光観察と、複数種類の蛍光色素に対応した蛍光観察と、に兼用可能なシステムを構築する際のコストを低減することができる。

【0072】

なお、本実施例の内視鏡システム1 Aは、例えば、図5に示すような、内視鏡装置2 Aの代わりに内視鏡装置2 Bを具備する内視鏡システム1 Bとして構成されるものであってもよい。このような本実施例の変形例に係る内視鏡システム1 Bの構成について、以下に説明する。但し、以降においては、簡単のため、既述の構成を適用可能な部分に関する具体的な説明を適宜省略するものとする。図5は、第1の実施例の変形例に係る内視鏡システムの要部の構成を示す図である。

10

【0073】

内視鏡システム1 Bは、図5に示すように、被検体内に挿入されるとともに、当該被検体内における生体組織等の被写体を撮像して得られた画像を出力するように構成された内視鏡装置2 Bと、当該被写体に照射される光を内視鏡装置2 Bに供給するように構成された光源装置3と、内視鏡装置2 Bから出力される画像に対して所定の画像処理を施すことにより観察画像等を生成して出力するように構成されたビデオプロセッサ4と、表示装置5と、を有している。

【0074】

20

内視鏡装置2 Bは、被検体内に存在する被写体に対する白色光の照射に応じて発生する当該白色光の反射光を用いた観察と、当該被検体内に投与された蛍光色素に対する励起光の照射に応じて発生する蛍光を用いた観察と、を行うことができるように構成されている。また、内視鏡装置2 Bは、細長の挿入部6を備えた光学視管2 1 Bと、光学視管2 1 Bの接眼部7に対して着脱可能なカメラユニット2 2 Bと、を有して構成されている。

【0075】

光学視管2 1 Bは、光学視管2 1 Aのリレーレンズ1 8から光学フィルタ6 1を取り除いたものと略同様の構成を有している。

【0076】

30

カメラユニット2 2 Bは、図3のような光学特性を有する光学フィルタ6 1をカメラユニット2 2 Aに対して加えたものと略同様の構成を有している。具体的には、カメラユニット2 2 Bは、例えば、分光器2 3の光入射側の所定の位置に配置された光学フィルタ6 1を有して構成されている。すなわち、本変形例の光学フィルタ6 1は、対物光学系1 7から入射した光がリレーレンズ1 8を経て分光器2 3に至るまでの光路上に位置する、接眼レンズ1 9と分光器2 3との間に（または分光器2 3の前面に）配置されている。

【0077】

なお、内視鏡システム1 Bの各部の動作については、内視鏡システム1 Aの各部の動作として既述の内容の一部を、内視鏡装置2 Bの光学フィルタ6 1の配置位置に応じて変更したものと同様であるため、詳細な説明を省略する。

【0078】

40

以上に述べたように、本変形例によれば、光学視管2 1 Bを通過してカメラユニット2 2 Bの分光器2 3に入射される光が光学フィルタ6 1によりフィルタリングされるため、例えば、E A R光及びE B R光を遮断するためのフィルタを撮像素子2 4及び2 5の前面にそれぞれ設けずとも、W L光の照射に応じて被写体から発せられるW L R光を用いた白色光観察と、E A光の照射に応じて蛍光色素F L Aから発せられるF A光を用いた蛍光観察と、E B光の照射に応じて蛍光色素F L Bから発せられるF B光を用いた蛍光観察と、を行うことができる。また、本変形例によれば、カメラユニット2 2 Bに光学フィルタ6 1が設けられているため、例えば、既存の光学視管の多くを内視鏡システム1 Bの光学視管2 1 Bとして使用することができる。従って、本変形例によれば、白色光観察と、複数種類の蛍光色素に対応した蛍光観察と、に兼用可能なシステムを構築する際のコストを低

50

減することができる。

【0079】

一方、本実施例によれば、光源装置3の代わりに、例えば、図6に示すような構成を有する光源装置3Aを用いて内視鏡システム1Aまたは1Bを構成してもよい。図6は、第1の実施例に係る光源装置の構成の、図2とは異なる例を示す図である。

【0080】

光源装置3Aは、図6に示すように、キセノンランプ71と、フィルタ切替装置72と、集光レンズ73と、光源制御部74と、を有して構成されている。

【0081】

キセノンランプ71は、例えば、波長 W_a から波長 W_e までの帯域を含む広帯域光であるBL光を発するように構成されている。また、キセノンランプ71は、光源制御部74の制御に応じて点灯状態または消灯状態に切り替わるように構成されている。また、キセノンランプ71は、点灯状態において、光源制御部74の制御に応じた光量のBL光を発するように構成されている。

10

【0082】

フィルタ切替装置72は、キセノンランプ71から発せられる光の光路を垂直に横切るように設けられた回転フィルタ72Aと、光源制御部74の制御に応じて回転駆動することにより、キセノンランプ71から発せられる光の光路上に介挿するフィルタを回転フィルタ72Aの各フィルタのうちの1つに切り替えるモータ72Bと、を有して構成されている。

20

【0083】

回転フィルタ72Aは、例えば、円板形状を具備して形成されている。また、回転フィルタ72Aには、例えば、図7に示すように、白色光観察用フィルタ721と、蛍光観察用フィルタ722と、が設けられている。図7は、図6の光源装置に設けられた回転フィルタの構成の一例を示す図である。

【0084】

白色光観察用フィルタ721は、例えば、図8に示すように、波長帯域 W_{ab} に含まれる光を透過させる一方で、波長帯域 W_{ab} 以外の波長帯域に含まれる光を遮断するような光学特性を具備して形成されている。図8は、図7の回転フィルタに設けられた白色光観察用フィルタの透過特性の一例を示す図である。

30

【0085】

蛍光観察用フィルタ722は、例えば、図9に示すように、波長帯域 W_{ab} 、波長帯域 W_{bc} 及び波長帯域 W_{de} の3つの波長帯域のうちのいずれかに含まれる光を透過させる一方で、当該3つの波長帯域以外の波長帯域に含まれる光を遮断するような光学特性を具備して形成されている。図9は、図7の回転フィルタに設けられた蛍光観察用フィルタの透過特性の一例を示す図である。

【0086】

すなわち、フィルタ切替装置72は、光源制御回路74の制御に応じてモータ72Bを回転駆動することにより、白色光観察用フィルタ721及び蛍光観察用フィルタ722のうちの一方のフィルタをキセノンランプ71から発せられる光の光路上に介挿させつつ、当該一方のフィルタとは異なる他方のフィルタを当該光路上から退避させることができるように構成されている。

40

【0087】

集光レンズ73は、フィルタ切替装置72を経て入射した光を集光してライトガイド13へ出射するように構成されている。

【0088】

光源制御部74は、ビデオプロセッサ4の制御部44から出力される照明制御信号に基づき、キセノンランプ71及びフィルタ切替装置72に対する制御を行うように構成されている。

【0089】

50

具体的には、光源制御部 7 4 は、制御部 4 4 から出力される照明制御信号に基づき、例えば、内視鏡システム 1 A または 1 B の観察モードが白色光観察モードに設定されたことを検知した際に、所定の光量の B L 光を発生させるための制御をキセノンランプ 7 1 に対して行うとともに、キセノンランプ 7 1 から発せられる光の光路上に白色光観察用フィルタ 7 2 1 を介挿させるための制御をフィルタ切替装置 7 2 のモータ 7 2 B に対して行うように構成されている。また、光源制御部 7 4 は、制御部 4 4 から出力される照明制御信号に基づき、例えば、内視鏡システム 1 A または 1 B の観察モードが蛍光観察モードに設定されたことを検知した際に、所定の光量の B L 光を発生させるための制御をキセノンランプ 7 1 に対して行うとともに、キセノンランプ 7 1 から発せられる光の光路上に蛍光観察用フィルタ 7 2 2 を介挿させるための制御をフィルタ切替装置 7 2 のモータ 7 2 B に対して行うように構成されている。

10

【 0 0 9 0 】

そして、本実施例によれば、以上に述べたような構成を具備する光源装置 3 A を光源装置 3 の代わりに用いて内視鏡システム 1 A または 1 B を構成した場合であっても、前述のものと同様の効果を得ることができる。

【 0 0 9 1 】

(第 2 の実施例)

図 1 0 は、本発明の第 2 の実施例に係るものである。

【 0 0 9 2 】

なお、本実施例においては、第 1 の実施例と同様の構成等を有する部分に関する詳細な説明を省略するとともに、第 1 の実施例と異なる構成等を有する部分に関して主に説明を行う。

20

【 0 0 9 3 】

内視鏡システム 1 C は、図 1 0 に示すように、被検体内に挿入されるとともに、当該被検体内における生体組織等の被写体を撮像して得られた画像を出力するように構成された内視鏡装置 2 C と、当該被写体に照射される光を内視鏡装置 2 C に供給するように構成された光源装置 3 と、内視鏡装置 2 C から出力される画像に対して所定の画像処理を施すことにより観察画像等を生成して出力するように構成されたビデオプロセッサ 4 と、表示装置 5 と、を有している。図 1 0 は、第 2 の実施例に係る内視鏡システムの要部の構成を示す図である。

30

【 0 0 9 4 】

内視鏡装置 2 C は、被検体内に存在する被写体に対する白色光の照射に応じて発生する当該白色光の反射光を用いた観察と、当該被検体内に投与された蛍光色素に対する励起光の照射に応じて発生する蛍光を用いた観察と、を行うことができるように構成されている。また、内視鏡装置 2 C は、光学視管 2 1 A と、光学視管 2 1 A の接眼部 7 に対して着脱可能なカメラユニット 2 2 C と、を有して構成されている。

【 0 0 9 5 】

カメラユニット 2 2 C は、分光器 2 3 A と、撮像素子 2 4、2 5 及び 2 6 と、信号処理回路 2 7 と、を有して構成されている。

【 0 0 9 6 】

分光器 2 3 A は、例えば、ダイクロイックミラーまたはプリズム等の 1 つ以上の光学部材を具備し、接眼レンズ 1 9 を経て出射される光を相互に異なる複数の波長帯域の光に分光して撮像素子 2 4、2 5 及び 2 6 へそれぞれ出射するように構成されている。具体的には、分光器 2 3 A は、接眼レンズ 1 9 を経て出射される光を、波長 W_b 以下の光である第 1 の波長帯域の光と、波長 W_b より長くかつ波長 W_d 以下の光である第 2 の波長帯域の光と、波長 W_d より長い波長の光である第 3 の波長帯域の光と、に分光し、当該第 1 の光を撮像素子 2 4 へ出射し、当該第 2 の光を撮像素子 2 5 へ出射し、当該第 3 の光を撮像素子 2 6 へ出射するように構成されている。

40

【 0 0 9 7 】

カメラユニット 2 2 C の撮像素子 2 4 は、例えば、原色系または補色系のカラーフィル

50

タを撮像面に設けたカラーＣＣＤにより構成されている。また、カメラユニット２２Ｃの撮像素子２４は、分光器２３Ａを経て出射される波長 W_b 以下の波長の光を撮像し、当該撮像した光に応じた画像を生成して出力するように構成されている。

【００９８】

カメラユニット２２Ｃの撮像素子２５は、例えば、高感度なモノクロＣＣＤにより構成されている。また、カメラユニット２２Ｃの撮像素子２５は、分光器２３Ａを経て出射される波長 W_b より長くかつ波長 W_d 以下の光を撮像し、当該撮像した光に応じた画像を生成して出力するように構成されている。

【００９９】

カメラユニット２２Ｃの撮像素子２６は、例えば、高感度なモノクロＣＣＤにより構成されている。また、カメラユニット２２Ｃの撮像素子２６は、ビデオプロセッサ４から出力される撮像素子駆動信号に応じた撮像動作を行うように構成されている。また、カメラユニット２２Ｃの撮像素子２６は、分光器２３Ａを経て出射される波長 W_d より長い波長の光を撮像し、当該撮像した光に応じた画像を生成して出力するように構成されている。

【０１００】

カメラユニット２２Ｃの信号処理回路２７は、撮像素子２４、２５及び２６から出力される画像に対し、例えば、相関二重サンプリング処理、ゲイン調整処理、及び、Ａ／Ｄ変換処理等のような所定の信号処理を施すように構成されている。また、カメラユニット２２Ｃの信号処理回路２７は、前述の所定の信号処理を施した画像を、信号ケーブル２８が接続されたビデオプロセッサ４へ出力するように構成されている。

【０１０１】

次に、本実施例の内視鏡システム１Ｃの動作等について説明する。なお、本実施例においては、蛍光色素ＦＬＡと、蛍光色素ＦＬＢと、が略同時に被検体内に投与される場合を例に挙げて説明する。

【０１０２】

まず、ユーザは、内視鏡システム１Ｃの各部を接続して電源を投入した後、入力Ｉ／Ｆ４３を操作することにより、内視鏡システム１Ｃの観察モードを白色光観察モードに設定するための指示を行う。

【０１０３】

制御部４４は、白色光観察モードに設定されたことを検出すると、光源装置３からＷＬ光を出射させるための照明制御信号を生成して光源制御部３４へ出力する。また、制御部４４は、白色光観察モードに設定されたことを検出すると、カメラユニット２２Ｃの撮像素子２４を駆動させるとともに、カメラユニット２２Ｃの撮像素子２５及び２６を駆動停止させるような制御を撮像素子駆動部４１に対して行う。

【０１０４】

光源制御部３４は、制御部４４から出力される照明制御信号に応じ、白色光源３１Ａを点灯状態にするための制御を行うとともに、励起光源３１Ｂ及び励起光源３１Ｃを消灯状態にするための制御を行う。また、撮像素子駆動部４１は、制御部４４の制御に応じ、撮像動作を行わせるための撮像素子駆動信号を生成して撮像素子２４へ出力するとともに、撮像動作を停止させるための撮像素子駆動信号を生成して撮像素子２５及び２６へ出力する。

【０１０５】

そして、以上に述べたような動作が光源制御部３４において行われることにより、ＷＬ光が被写体に照射され、当該被写体から発せられたＷＬＲ光が戻り光として対物レンズ１７から入射され、対物レンズ１７を経て出射されるＷＬＲ光がリレーレンズ１８に入射される。また、内視鏡システム１Ｃの観察モードが白色光観察モードに設定された際には、分光器２３Ａを経て出射されるＷＬＲ光が撮像素子２４により撮像されるとともに、当該ＷＬＲ光を撮像して得られた反射光画像ＲＩが信号処理回路２７を経て画像処理部４２へ出力される。

【０１０６】

10

20

30

40

50

画像処理部 4 2 は、制御部 4 4 の制御に応じ、信号処理回路 2 7 から出力される反射光画像 R I に対して所定の画像処理を施すことにより白色光観察画像を生成し、当該生成した白色光観察画像を表示装置 5 へ出力する。そして、このような画像処理部 4 2 の動作によれば、例えば、生体組織等の被写体を肉眼で見た場合と略同様の色調を具備する白色光観察画像が表示装置 5 に表示される。

【 0 1 0 7 】

一方、ユーザは、例えば、内視鏡システム 1 C の観察モードを蛍光観察モードに設定する前の所望のタイミングにおいて、蛍光色素 F L A 及び F L B を被検体内に投与する。

【 0 1 0 8 】

ユーザは、表示装置 5 に表示される白色光観察画像を確認しながら、挿入部 6 を被検体内に挿入し、挿入部 6 の先端部を当該被検体内の所望の観察部位の近傍に配置した状態において、入力 I / F 4 3 を操作することにより、内視鏡システム 1 C の観察モードを蛍光観察モードに設定するための指示を行う。

10

【 0 1 0 9 】

制御部 4 4 は、蛍光観察モードに設定されたことを検出すると、光源装置 3 から W L 光、E A 光及び E B 光を同時に出射させるための照明制御信号を生成して光源制御部 3 4 へ出力する。また、制御部 4 4 は、蛍光観察モードに設定されたことを検出すると、カメラユニット 2 2 C の撮像素子 2 4、2 5 及び 2 6 を駆動させるような制御を撮像素子駆動部 4 1 に対して行う。

【 0 1 1 0 】

20

光源制御部 3 4 は、制御部 4 4 から出力される照明制御信号に応じ、白色光源 3 1 A、励起光源 3 1 B 及び励起光源 3 1 C をそれぞれ点灯状態にするための制御を行う。また、撮像素子駆動部 4 1 は、制御部 4 4 の制御に応じ、撮像動作を行わせるための撮像素子駆動信号を生成して撮像素子 2 4、2 5 及び 2 6 へそれぞれ出力する。

【 0 1 1 1 】

そして、以上に述べたような動作が光源制御部 3 4 において行われることにより、W L 光、E A 光及び E B 光が被写体に照射され、W L R 光、F A 光、F B 光、E A R 光及び E B R 光が戻り光として対物レンズ 1 7 から入射され、対物レンズ 1 7 を経て出射される当該戻り光がリレーレンズ 1 8 に入射される。

【 0 1 1 2 】

30

ここで、前述の光学視管 2 1 A の構成によれば、リレーレンズ 1 8 に設けられた光学フィルタ 6 1 が図 3 に例示したような光学特性を具備するため、波長帯域 W a b の W L R 光と、波長帯域 W c d の F A 光と、波長帯域 W e f の F B 光と、がそれぞれ接眼レンズ 1 9 側へ透過して分光器 2 3 A に入射される一方で、波長帯域 W b c の E A R 光と、波長帯域 W d e の E B R 光と、が光学フィルタ 6 1 により遮断される。

【 0 1 1 3 】

従って、蛍光色素 F L A 及び F L B が被検体内に投与された状態で内視鏡システム 1 C の観察モードが蛍光観察モードに設定された際には、分光器 2 3 A を経て出射される W L R 光が撮像素子 2 4 により撮像され、分光器 2 3 A を経て出射される F A 光が撮像素子 2 5 により撮像され、分光器 2 3 A を経て出射される F B 光が撮像素子 2 6 により撮像されるとともに、反射光画像 R I と、蛍光画像 F A I と、蛍光画像 F B I と、が信号処理回路 2 7 を経て画像処理部 4 2 へそれぞれ出力される。

40

【 0 1 1 4 】

画像処理部 4 2 は、制御部 4 4 の制御に応じ、信号処理回路 2 7 から出力される反射光画像 R I、蛍光画像 F A I 及び蛍光画像 F B I に対して所定の画像処理を施すことにより蛍光観察画像を生成し、当該生成した蛍光観察画像を表示装置 5 へ出力する。そして、このような画像処理部 4 2 の動作によれば、例えば、被検体内の所望の観察部位における F A 光の発生状態と、当該所望の観察部位における F B 光の発生状態と、を個別に識別可能な情報が白色光観察画像に付加された蛍光観察画像が表示装置 5 に表示される。

【 0 1 1 5 】

50

なお、本実施例の画像処理部４２は、反射光画像ＲＩ、蛍光画像ＦＡＩ及び蛍光画像ＦＢＩを用いて蛍光観察画像を生成するものに限らず、例えば、反射光画像ＲＩを用いずに、すなわち、蛍光画像ＦＡＩ及び蛍光画像ＦＢＩのうちの少なくとも一方を用いて蛍光観察画像を生成するものであってもよい。そして、このような画像処理部４２の動作によれば、例えば、被検体内の所望の観察部位におけるＦＡ光及び／またはＦＢ光の発生状態を直接視認することが可能な蛍光観察画像が表示装置５に表示される。

【０１１６】

以上に述べたように、本実施例によれば、光学視管２１Ａを通過する光が光学フィルタ６１によりフィルタリングされるため、例えば、ＥＡＲ光及びＥＢＲ光を遮断するためのフィルタを撮像素子２４、２５及び２６の前面にそれぞれ設けずとも、ＷＬ光の照射に応じて被写体から発せられるＷＬＲ光を用いた白色光観察と、ＥＡ光の照射に応じて蛍光色素ＦＬＡから発せられるＦＡ光を用いた蛍光観察と、ＥＢ光の照射に応じて蛍光色素ＦＬＢから発せられるＦＢ光を用いた蛍光観察と、を行うことができる。従って、本実施例によれば、白色光観察と、複数種類の蛍光色素に対応した蛍光観察と、に兼用可能なシステムを構築する際のコストを低減することができる。

10

【０１１７】

また、本実施例によれば、例えば、対物レンズ１７、リレーレンズ１８、接眼レンズ１９、及び、分光器２３Ａを含む光学系の焦点距離に応じた位置になるように撮像素子２５及び２６の撮像面をそれぞれ配置することにより、蛍光画像ＦＡＩ及び蛍光画像ＦＢＩの画質を向上させることができる。

20

【０１１８】

一方、本実施例によれば、光源装置３の代わりに、第１の実施例において既述の構成を有する光源装置３Ａを用いて内視鏡システム１Ｃを構成してもよい。そして、本実施例によれば、光源装置３Ａを光源装置３の代わりに用いて内視鏡システム１Ｃを構成した場合であっても、前述のものと同様の効果を得ることができる。

【０１１９】

なお、本実施例の構成を適宜変形することにより、例えば、被検体の体腔内に挿入可能な細長形状に形成された挿入部６を具備し、かつ、当該挿入部６の先端部に対物レンズ１７、光学フィルタ６１、分光器２３Ａ、及び、撮像素子２４～２６Ｄ、及び、撮像素子２６Ｅを設けて内視鏡装置２Ｃを構成してもよい。そして、このような場合においては、リレーレンズ１８及び接眼レンズ１９を用いずに内視鏡装置２Ｃを構成することができる。また、前述のように内視鏡装置２Ｃを構成する場合には、対物レンズ１７と分光器２３Ａとの間に（または分光器２３Ａの前面に）光学フィルタ６１を配置すればよい。

30

【０１２０】

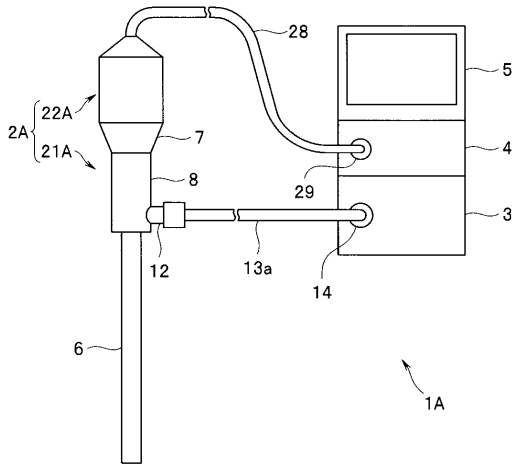
なお、本発明は、上述した各実施例及び変形例に限定されるものではなく、発明の趣旨を逸脱しない範囲内において種々の変更や応用が可能であることは勿論である。

【０１２１】

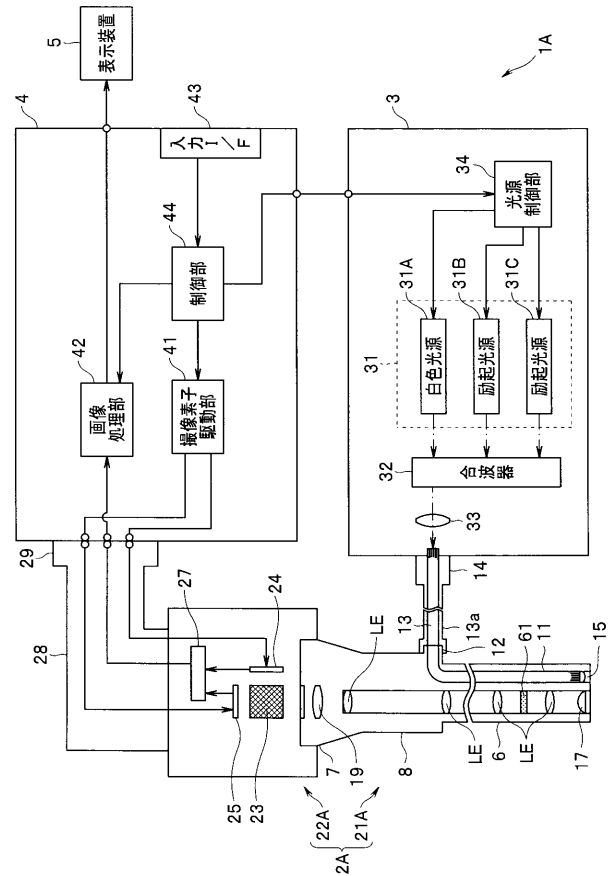
本出願は、２０１５年９月１８日に日本国に出願された特願２０１５－１８５１９６号を優先権主張の基礎として出願するものであり、上記の開示内容は、本願明細書、請求の範囲、図面に引用されたものとする。

40

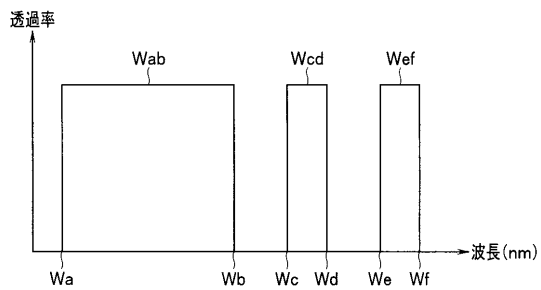
【図 1】



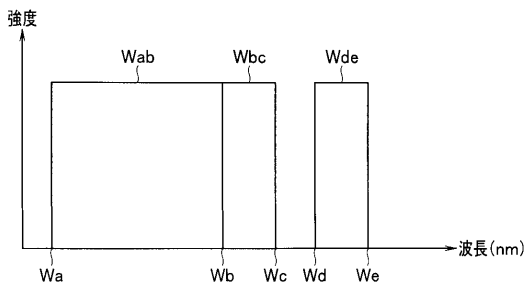
【図 2】



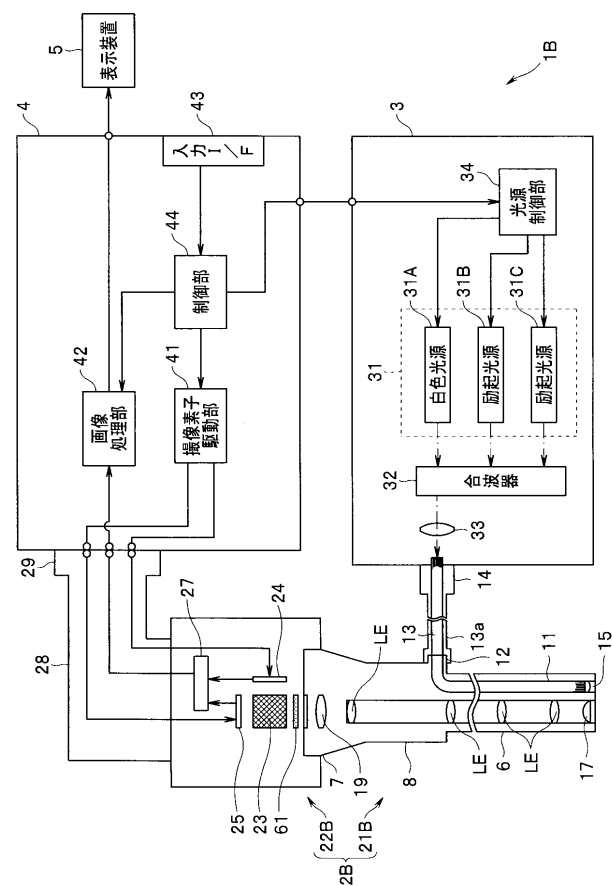
【図 3】



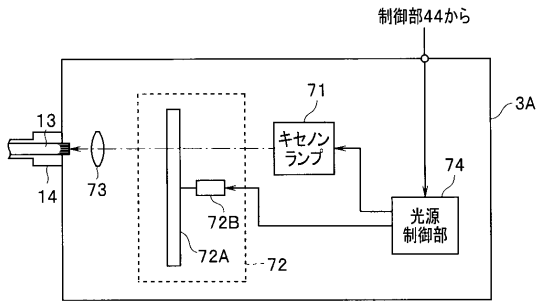
【図 4】



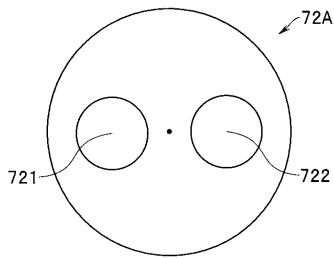
【図 5】



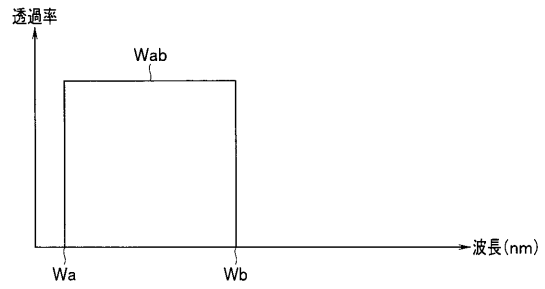
【図 6】



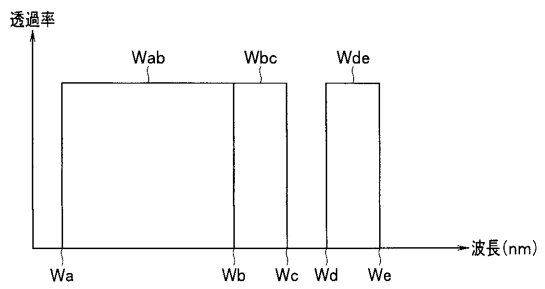
【図 7】



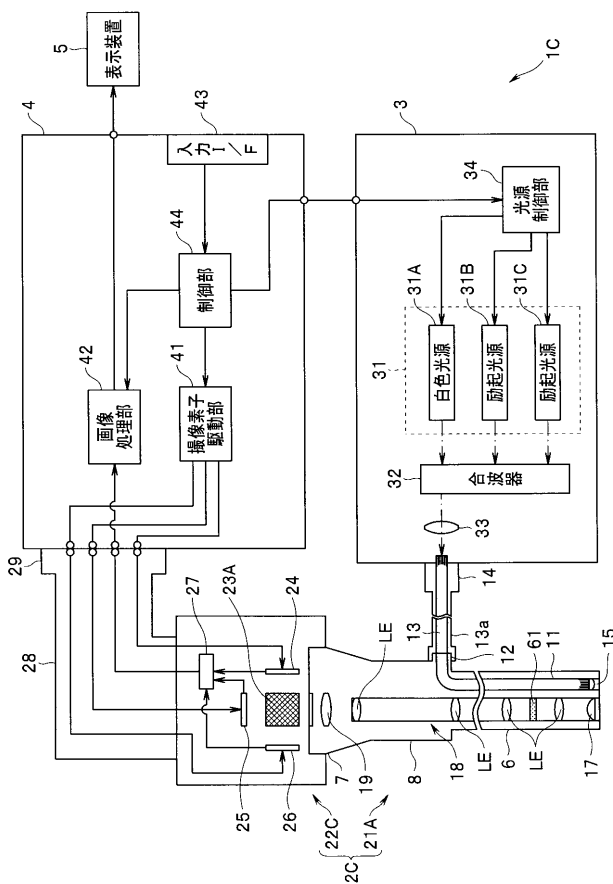
【図 8】



【図 9】



【図 10】



【手続補正書】

【提出日】平成28年12月15日(2016.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の一態様の内視鏡装置は、被検体内に存在する被写体に対する白色光の照射に応じて発生する前記白色光の反射光を用いた観察と、前記被検体内に投与された第1の蛍光色素に対する第1の励起光の照射に応じて発生する第1の蛍光を用いた観察と、前記被検体内に投与された第2の蛍光色素に対する第2の励起光の照射に応じて発生する第2の蛍光を用いた観察と、を行うことが可能な内視鏡装置であって、前記被検体内に挿入可能な挿入部と、前記挿入部の先端部に設けられ、前記白色光の反射光と、前記第1の蛍光と、前記第2の蛍光と、前記第1の励起光の照射に応じて発生する前記第1の励起光の反射光と、前記第2の励起光の照射に応じて発生する前記第2の励起光の反射光と、が戻り光として入射されるように構成された対物光学系と、前記対物光学系を経て出射される前記戻り光を前記白色光の波長帯域と前記白色光の波長帯域とは異なる波長帯域の光とに分光して出射するように構成された分光器と、前記対物光学系から入射した前記戻り光が前記分光器に至るまでの光路上に配置され、前記白色光の反射光、前記第1の蛍光及び前記第2の蛍光を透過させつつ、前記第1の励起光の反射光及び前記第2の励起光の反射光を遮断するような光学特性を具備して形成された光学フィルタと、前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記白色光の反射光を撮像するための第1の撮像素子と、前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記第1の蛍光と前記第2の蛍光とを撮像するための第2の撮像素子と、を有する。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明の一態様の内視鏡システムは、被検体内に存在する被写体を照明するための白色光と、前記被検体内に投与された第1の蛍光色素を励起させて第1の蛍光を発生させるための第1の励起光と、前記被検体内に投与された第2の蛍光色素を励起させて第2の蛍光を発生させるための第2の励起光と、を供給可能な光源装置と、前記被検体内に挿入可能な挿入部と、前記挿入部の先端部に設けられ、前記被写体に対する前記白色光の照射に応じて発生する前記白色光の反射光と、前記第1の蛍光と、前記第2の蛍光と、前記第1の励起光の照射に応じて発生する前記第1の励起光の反射光と、前記第2の励起光の照射に応じて発生する前記第2の励起光の反射光と、が戻り光として入射されるように構成された対物光学系と、前記対物光学系を経て出射される前記戻り光を前記白色光の波長帯域と前記白色光の波長帯域とは異なる波長帯域の光とに分光して出射するように構成された分光器と、前記対物光学系から入射した前記戻り光が前記分光器に至るまでの光路上に配置され、前記白色光の反射光、前記第1の蛍光及び前記第2の蛍光を透過させつつ、前記第1の励起光の反射光及び前記第2の励起光の反射光を遮断するような光学特性を具備して形成された光学フィルタと、前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記白色光の反射光を撮像するための第1の撮像素子と、前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記第1の蛍光と前記第2の蛍光とを撮像するための第2の撮像素子と、を有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被検体内に存在する被写体に対する白色光の照射に応じて発生する前記白色光の反射光を用いた観察と、前記被検体内に投与された第 1 の蛍光色素に対する第 1 の励起光の照射に応じて発生する第 1 の蛍光を用いた観察と、前記被検体内に投与された第 2 の蛍光色素に対する第 2 の励起光の照射に応じて発生する第 2 の蛍光を用いた観察と、を行うことが可能な内視鏡装置であって、

前記被検体内に挿入可能な挿入部と、

前記挿入部の先端部に設けられ、前記白色光の反射光と、前記第 1 の蛍光と、前記第 2 の蛍光と、前記第 1 の励起光の照射に応じて発生する前記第 1 の励起光の反射光と、前記第 2 の励起光の照射に応じて発生する前記第 2 の励起光の反射光と、が戻り光として入射されるように構成された対物光学系と、

前記対物光学系を経て出射される前記戻り光を前記白色光の波長帯域と前記白色光の波長帯域とは異なる波長帯域の光とに分光して出射するように構成された分光器と、

前記対物光学系から入射した前記戻り光が前記分光器に至るまでの光路上に配置され、前記白色光の反射光、前記第 1 の蛍光及び前記第 2 の蛍光を透過させつつ、前記第 1 の励起光の反射光及び前記第 2 の励起光の反射光を遮断するような光学特性を具備して形成された光学フィルタと、

前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記白色光の反射光を撮像するための第 1 の撮像素子と、

前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記第 1 の蛍光と前記第 2 の蛍光とを撮像するための第 2 の撮像素子と、

を有することを特徴とする内視鏡装置。

【請求項 2】

前記挿入部に設けられ、前記対物光学系から入射した前記戻り光を前記分光器へ伝送するように構成された伝送光学系をさらに有する

ことを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡装置。

【請求項 3】

前記光学フィルタは、前記伝送光学系を構成する複数のレンズのうちの所定の 2 つのレンズの間に設けられている

ことを特徴とする請求項 2 に記載の内視鏡装置。

【請求項 4】

前記光学フィルタは、前記伝送光学系と前記分光器との間に設けられている

ことを特徴とする請求項 2 に記載の内視鏡装置。

【請求項 5】

前記対物光学系、前記分光器、前記光学フィルタ、前記第 1 の撮像素子及び前記第 2 の撮像素子が前記挿入部の先端部に設けられているとともに、前記光学フィルタが前記対物光学系と前記分光器との間に設けられている

ことを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡装置。

【請求項 6】

前記分光器は、前記白色光の波長帯域とは異なる波長帯域の光をさらに前記第 1 の蛍光の波長帯域の光と前記第 2 の蛍光の波長帯域の光とに分光してそれぞれ出射するように構成されており、

前記第 2 の撮像素子は、前記第 1 の蛍光の波長帯域の光を受光する撮像素子と、前記第 2 の蛍光の波長帯域の光を受光する撮像素子と、からなる

ことを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡装置。

【請求項 7】

被検体内に存在する被写体を照明するための白色光と、前記被検体内に投与された第 1 の蛍光色素を励起させて第 1 の蛍光を発生させるための第 1 の励起光と、前記被検体内に投与された第 2 の蛍光色素を励起させて第 2 の蛍光を発生させるための第 2 の励起光と、を供給可能な光源装置と、

前記被検体内に挿入可能な挿入部と、

前記挿入部の先端部に設けられ、前記被写体に対する前記白色光の照射に応じて発生する前記白色光の反射光と、前記第 1 の蛍光と、前記第 2 の蛍光と、前記第 1 の励起光の照射に応じて発生する前記第 1 の励起光の反射光と、前記第 2 の励起光の照射に応じて発生する前記第 2 の励起光の反射光と、が戻り光として入射されるように構成された対物光学系と、

前記対物光学系を経て出射される前記戻り光を前記白色光の波長帯域と前記白色光の波長帯域とは異なる波長帯域の光とに分光して出射するように構成された分光器と、

前記対物光学系から入射した前記戻り光が前記分光器に至るまでの光路上に配置され、前記白色光の反射光、前記第 1 の蛍光及び前記第 2 の蛍光を透過させつつ、前記第 1 の励起光の反射光及び前記第 2 の励起光の反射光を遮断するような光学特性を具備して形成された光学フィルタと、

前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記白色光の反射光を撮像するための第 1 の撮像素子と、

前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記第 1 の蛍光と前記第 2 の蛍光とを撮像するための第 2 の撮像素子と、

を有することを特徴とする内視鏡システム。

【手続補正書】

【提出日】平成29年3月28日(2017.3.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明の一態様の内視鏡装置は、被検体内に存在する被写体に対する白色光の照射に応じて発生する前記白色光の反射光を用いた観察と、前記被検体内に投与された第 1 の蛍光色素に対する第 1 の励起光の照射に応じて発生する第 1 の蛍光を用いた観察と、前記被検体内に投与された第 2 の蛍光色素に対する第 2 の励起光の照射に応じて発生する第 2 の蛍光を用いた観察と、を行うことが可能な内視鏡装置であって、前記被検体内に挿入可能な挿入部と、前記挿入部の先端部に設けられ、前記白色光の反射光と、前記第 1 の蛍光と、前記第 2 の蛍光と、前記第 1 の励起光の照射に応じて発生する前記第 1 の励起光の反射光と、前記第 2 の励起光の照射に応じて発生する前記第 2 の励起光の反射光と、が戻り光として入射されるように構成された対物光学系と、前記挿入部において前記対物光学系よりも基端側に設けられ、複数のレンズを有し、前記対物光学系により得られた前記戻り光を伝送する伝送光学系と、前記挿入部に対して着脱可能に構成され、前記伝送光学系を経た前記戻り光が入射する複数の撮像素子を備えたカメラユニットと、前記カメラユニットに設けられ、前記伝送光学系を経て出射される前記戻り光を前記白色光の波長帯域と前記白色光の波長帯域とは異なる波長帯域の光とに分光して出射するように構成された分光器と、前記伝送光学系の前記複数のレンズの間に配置され、または、前記カメラユニット内であって前記分光器の前記戻り光の入射側の所定の位置に配置され、前記白色光の反射光、前記第 1 の蛍光及び前記第 2 の蛍光を透過させつつ、前記第 1 の励起光の反射光及び前記第 2 の励起光の反射光を遮断するような光学特性を具備して形成された光学フィルタと、前記複数の撮像素子に含まれ、前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記白色光の反射光を撮像するための第 1 の撮像素子と、前記複数の撮像素子に含まれ、前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記第 1 の蛍光と前記第 2 の蛍光とを撮像す

るための第２の撮像素子と、を有する。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

本発明の一態様の内視鏡システムは、被検体内に存在する被写体を照明するための白色光と、前記被検体内に投与された第１の蛍光色素を励起させて第１の蛍光を発生させるための第１の励起光と、前記被検体内に投与された第２の蛍光色素を励起させて第２の蛍光を発生させるための第２の励起光と、を供給可能な光源装置と、前記被検体内に挿入可能な挿入部と、前記挿入部の先端部に設けられ、前記被写体に対する前記白色光の照射に応じて発生する前記白色光の反射光と、前記第１の蛍光と、前記第２の蛍光と、前記第１の励起光の照射に応じて発生する前記第１の励起光の反射光と、前記第２の励起光の照射に応じて発生する前記第２の励起光の反射光と、が戻り光として入射されるように構成された対物光学系と、前記挿入部において前記対物光学系よりも基端側に設けられ、複数のレンズを有し、前記対物光学系により得られた前記戻り光を伝送する伝送光学系と、前記挿入部に対して着脱可能に構成され、前記伝送光学系を経た前記戻り光が入射する複数の撮像素子を備えたカメラユニットと、前記カメラユニットに設けられ、前記伝送光学系を経て出射される前記戻り光を前記白色光の波長帯域と前記白色光の波長帯域とは異なる波長帯域の光とに分光して出射するように構成された分光器と、前記伝送光学系の前記複数のレンズの間に配置され、または、前記カメラユニット内であって前記分光器の前記戻り光の入射側の所定の位置に配置され、前記白色光の反射光、前記第１の蛍光及び前記第２の蛍光を透過させつつ、前記第１の励起光の反射光及び前記第２の励起光の反射光を遮断するような光学特性を具備して形成された光学フィルタと、前記複数の撮像素子に含まれ、前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記白色光の反射光を撮像するための第１の撮像素子と、前記複数の撮像素子に含まれ、前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記第１の蛍光と前記第２の蛍光とを撮像するための第２の撮像素子と、を有する。

【手続補正３】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項１】

被検体内に存在する被写体に対する白色光の照射に応じて発生する前記白色光の反射光を用いた観察と、前記被検体内に投与された第１の蛍光色素に対する第１の励起光の照射に応じて発生する第１の蛍光を用いた観察と、前記被検体内に投与された第２の蛍光色素に対する第２の励起光の照射に応じて発生する第２の蛍光を用いた観察と、を行うことが可能な内視鏡装置であって、

前記被検体内に挿入可能な挿入部と、

前記挿入部の先端部に設けられ、前記白色光の反射光と、前記第１の蛍光と、前記第２の蛍光と、前記第１の励起光の照射に応じて発生する前記第１の励起光の反射光と、前記第２の励起光の照射に応じて発生する前記第２の励起光の反射光と、が戻り光として入射されるように構成された対物光学系と、

前記挿入部において前記対物光学系よりも基端側に設けられ、複数のレンズを有し、前記対物光学系により得られた前記戻り光を伝送する伝送光学系と、

前記挿入部に対して着脱可能に構成され、前記伝送光学系を経た前記戻り光が入射する複数の撮像素子を備えたカメラユニットと、

前記カメラユニットに設けられ、前記伝送光学系を経て出射される前記戻り光を前記白色光の波長帯域と前記白色光の波長帯域とは異なる波長帯域の光とに分光して出射するように構成された分光器と、

前記伝送光学系の前記複数のレンズの間に配置され、または、前記カメラユニット内であって前記分光器の前記戻り光の入射側の所定の位置に配置され、前記白色光の反射光、前記第 1 の蛍光及び前記第 2 の蛍光を透過させつつ、前記第 1 の励起光の反射光及び前記第 2 の励起光の反射光を遮断するような光学特性を具備して形成された光学フィルタと、

前記複数の撮像素子に含まれ、前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記白色光の反射光を撮像するための第 1 の撮像素子と、

前記複数の撮像素子に含まれ、前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記第 1 の蛍光と前記第 2 の蛍光とを撮像するための第 2 の撮像素子と、

を有することを特徴とする内視鏡装置。

【請求項 2】

前記分光器は、前記白色光の波長帯域とは異なる波長帯域の光をさらに前記第 1 の蛍光の波長帯域の光と前記第 2 の蛍光の波長帯域の光とに分光してそれぞれ出射するように構成されており、

前記第 2 の撮像素子は、前記第 1 の蛍光の波長帯域の光を受光する撮像素子と、前記第 2 の蛍光の波長帯域の光を受光する撮像素子と、からなる

ことを特徴とする請求項 1 に記載の内視鏡装置。

【請求項 3】

被検体内に存在する被写体を照明するための白色光と、前記被検体内に投与された第 1 の蛍光色素を励起させて第 1 の蛍光を発生させるための第 1 の励起光と、前記被検体内に投与された第 2 の蛍光色素を励起させて第 2 の蛍光を発生させるための第 2 の励起光と、を供給可能な光源装置と、

前記被検体内に挿入可能な挿入部と、

前記挿入部の先端部に設けられ、前記被写体に対する前記白色光の照射に応じて発生する前記白色光の反射光と、前記第 1 の蛍光と、前記第 2 の蛍光と、前記第 1 の励起光の照射に応じて発生する前記第 1 の励起光の反射光と、前記第 2 の励起光の照射に応じて発生する前記第 2 の励起光の反射光と、が戻り光として入射されるように構成された対物光学系と、

前記挿入部において前記対物光学系よりも基端側に設けられ、複数のレンズを有し、前記対物光学系により得られた前記戻り光を伝送する伝送光学系と、

前記挿入部に対して着脱可能に構成され、前記伝送光学系を経た前記戻り光が入射する複数の撮像素子を備えたカメラユニットと、

前記カメラユニットに設けられ、前記伝送光学系を経て出射される前記戻り光を前記白色光の波長帯域と前記白色光の波長帯域とは異なる波長帯域の光とに分光して出射するように構成された分光器と、

前記伝送光学系の前記複数のレンズの間に配置され、または、前記カメラユニット内であって前記分光器の前記戻り光の入射側の所定の位置に配置され、前記白色光の反射光、前記第 1 の蛍光及び前記第 2 の蛍光を透過させつつ、前記第 1 の励起光の反射光及び前記第 2 の励起光の反射光を遮断するような光学特性を具備して形成された光学フィルタと、

前記複数の撮像素子に含まれ、前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記白色光の反射光を撮像するための第 1 の撮像素子と、

前記複数の撮像素子に含まれ、前記光学フィルタ及び前記分光器を経て出射される前記第 1 の蛍光と前記第 2 の蛍光とを撮像するための第 2 の撮像素子と、

を有することを特徴とする内視鏡システム。

【国際調査報告】

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2016/061234

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

A61B1/00(2006.01)i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

A61B1/00

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2016
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2016	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2016

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
X	WO 2008/072444 A1 (Olympus Corp.), 19 June 2008 (19.06.2008), fig. 1, 2; description, paragraphs [0012] to [0026], [0033] to [0036], [0040], [0048] & US 2010/0036203 A1 fig. 1, 2; paragraphs [0028] to [0049], [0057] to [0061], [0066], [0078]	1-6
A	JP 2009-39510 A (Fujifilm Corp.), 26 February 2009 (26.02.2009), fig. 1, 3, 6 & US 2009/0021739 A1 fig. 1, 3, 6	1-6

☐ Further documents are listed in the continuation of Box C.☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
20 June 2016 (20.06.16)Date of mailing of the international search report
28 June 2016 (28.06.16)Name and mailing address of the ISA/
Japan Patent Office
3-4-3, Kasumigaseki, Chiyoda-ku,
Tokyo 100-8915, Japan

Authorized officer

Telephone No.

国際調査報告		国際出願番号 PCT/J P 2 0 1 6 / 0 6 1 2 3 4	
A. 発明の属する分野の分類 (国際特許分類 (IPC)) Int.Cl. A61B1/00(2006.01)i			
B. 調査を行った分野 調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC)) Int.Cl. A61B1/00			
最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの 日本国実用新案公報 1922-1996年 日本国公開実用新案公報 1971-2016年 日本国実用新案登録公報 1996-2016年 日本国登録実用新案公報 1994-2016年			
国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)			
C. 関連すると認められる文献			
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号	
X	WO 2008/072444 A1 (オリンパス株式会社) 2008.06.19 図 1, 2, 明細書 [0012]-[0026], [0033]-[0036], [0040], [0048] & US 2010/0036203 A1, 図 1, 2, [0028]-[0049], [0057]-[0061], [0066], [0078]	1-6	
A	JP 2009-39510 A (富士フイルム株式会社) 2009.02.26 図 1, 3, 6 & US 2009/0021739 A1, 図 1, 3, 6	1-6	
☐ C欄の続きにも文献が列挙されている。 ☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。			
* 引用文献のカテゴリー 「A」 特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの 「E」 国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの 「L」 優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献 (理由を付す) 「O」 口頭による開示、使用、展示等に言及する文献 「P」 国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願日の後に公表された文献 「T」 国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの 「X」 特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの 「Y」 特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの 「&」 同一パテントファミリー文献			
国際調査を完了した日 20.06.2016		国際調査報告の発送日 28.06.2016	
国際調査機関の名称及びあて先 日本国特許庁 (ISA/J P) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号		特許庁審査官 (権限のある職員) 右▲高▼ 孝幸 電話番号 03-3581-1101 内線 3292	2Q 9808

フロントページの続き

(81)指定国 AP(BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW, MZ, NA, RW, SD, SL, ST, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), EA(AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), EP(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR, GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT, NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OA(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, MR, NE, SN, TD, TG), AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN, CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN, IR, IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX, MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH, PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK, SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA, UG, US

(72)発明者 鶴田 美沙

東京都八王子市石川町 2 9 5 1 番地 オリンパス株式会社内

(72)発明者 竹内 佑一

東京都八王子市石川町 2 9 5 1 番地 オリンパス株式会社内

Fターム(参考) 2H040 CA09 CA11 CA13 GA02 GA06 GA11

4C161 CC06 CC07 DD01 FF02 FF06 GG01 HH54 LL01 LL08 NN01

PP11 QQ02 QQ04 QQ07 RR14 VV06

(注) この公表は、国際事務局(WIPO)により国際公開された公報を基に作成したものである。なおこの公表に係る日本語特許出願(日本語実用新案登録出願)の国際公開の効果は、特許法第184条の10第1項(実用新案法第48条の13第2項)により生ずるものであり、本掲載とは関係ありません。

专利名称(译)	内窥镜设备和内窥镜系统		
公开(公告)号	JPWO2017047142A1	公开(公告)日	2017-09-14
申请号	JP2016573630	申请日	2016-04-06
[标]申请(专利权)人(译)	奥林巴斯株式会社		
申请(专利权)人(译)	奥林巴斯公司		
[标]发明人	内山博樹 渡邊俊明 鶴田美沙 竹内佑一		
发明人	内山 博樹 渡邊 俊明 鶴田 美沙 竹内 佑一		
IPC分类号	A61B1/04 A61B1/00 A61B1/06 G02B23/24		
CPC分类号	A61B1/043 A61B1/00006 A61B1/00045 A61B1/045 A61B1/053 A61B1/0638 A61B1/0646 A61B1/07		
FI分类号	A61B1/04.370 A61B1/00.300.D A61B1/04.362.J A61B1/06.A G02B23/24.B		
F-TERM分类号	2H040/CA09 2H040/CA11 2H040/CA13 2H040/GA02 2H040/GA06 2H040/GA11 4C161/CC06 4C161/CC07 4C161/DD01 4C161/FF02 4C161/FF06 4C161/GG01 4C161/HH54 4C161/LL01 4C161/LL08 4C161/NN01 4C161/PP11 4C161/QQ02 4C161/QQ04 4C161/QQ07 4C161/RR14 4C161/VV06		
代理人(译)	伊藤 进 长谷川 靖 ShinoUra修		
优先权	2015185196 2015-09-18 JP		
其他公开文献	JP6138386B1		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

内窥镜装置使用响应于在对象上的白光的照射而产生的白光的反射光进行观察，并且使用响应于荧光染料上的激发光的照射而产生的荧光来进行观察。可以将能够插入到被检体内的插入部，白光的反射光，荧光以及激发光的反射光插入到物镜光学系统中，以及通过物镜光学系统出射的光中。散射光的光分镜，设置在从物镜光学系统进入分光镜的光的光路上的滤光器，其在阻挡激发光的反射光的同时透射白光和荧光的反射光。以及多个图像拾取装置，其分别拾取通过滤光器和分光镜发射的光的图像。

